

今日はバイブル時事講演会。バイブルとはもちろん聖書の事です。聖書は本の王様で、年間5億冊以上売れているのですが、1989年-1990年に7億冊売れたと言われていました。1989年ベルリンの壁の崩壊で、東ヨーロッパの共産圏の国々が次々と倒れて信教の自由を得、同時に、今まで飢え渴いていた聖書がドサッと入って行ったからです。聖書は本の中の本で別格ですが、聖書を除いたベストセラーは何でしょうか？

日本に限って言うと、10万冊売れるとベストセラーです。100万冊だとミリオンセラー。それが、2億冊以上売れている本が日本に3つあります。1位はワンピース。服だと思っている人は、一定の年齢以上の方ですね。これは海賊が主人公の漫画で3億2千万冊。2位はドラゴンボール。これも漫画で3億冊。3位はゴルゴ13で2億1千万冊。この本は、全国の散髪屋さんに置いてある本の中で一番多いそうです。ゴルゴ13の作者のさいとう・たかを という漫画家は実家が散髪屋。

“ゴルゴ”は、キリストが十字架につけられた“ゴルゴダの丘”から取りました。この本には販売数の1位と2位をぶっちぎりで抜いている記録があります。それは連載の長さ。50年間、1回も休みなしで連載が続いている。50年ですよ。

どういう漫画かという、殺し屋の漫画。実に殺伐。だけど、この漫画の特徴は、いわゆる架空の世界のおとぎ話ではなく、実在する国や政治家・本当にあった事件を題材にし、今の国際情勢について語っているのです。ゴルゴ13はある事で注目されています。ストーリーに書いてある事が、半年か1年・3年遅れくらいで、実際の世界に実現するから。いつもではない。でも、あくまでも漫画の中の物語を、時間差で実際の世界情勢が追いかけるみたいに、ほぼ同じような展開になるという事がたまにある。なぜこんな事が分かるのかと言うと、これにはタネ明かしがあります。

今、世界の特派員として戦場に入っているジャーナリストや、世界の果てのキナ臭い所で商売をしている商社マンたちは、少年時代にゴルゴ13の愛読者。彼らは赴任している所で、非常に興味深いニュースや信憑性の高い耳より情報を得るのですが、裏付けが取れていない。だから活字にできない。でも信憑性はある。なので、愛するさいとう・たかを先生に「実は、こんな事を見聞しているんですが、ネタになりませんか？」

彼は、それを取り入れる。時々の中する理由は、現場のインサイド情報に基づいて描いているからです。そして、極々たまにはあるけれど、そこに描かれてある通りの事が実際に起こる。それで、ゴルゴ13を国際情勢の分析・或いは入門のために、教材として読む人がいるのです。その代表が麻生太郎さん。日本の副総理。麻生太郎さんの事務所に行ったら、ゴルゴ13の等身大のポスターが貼ってあると言っていました。大丈夫かな、日本…。

何を言いたいかという、あるストーリーがあって、それが極たまにはあっても、世界が後追いでその通りになるという物があるなら、一応目を通しておこうかなとなる。だから50年も続いているのです。でも極々たまにはではなく、この本に書かれている事は100%・全部・一つも違う事なく、人類歴史の中に成就してきたし、これからも実現するだろうという事が書かれている本があるなら、何が何でも読みたいと思うのではないのでしょうか。それが聖書です。

今日は、永遠のベストセラーである聖書が、人類の行く末について前もって書いている事を75分くらいでお話する予定ですが、全部を語り切る事はできないので、これをきっかけにして、ぜひ聖書と出会って頂きたいと願っています。

「聖書は人が書いた人間の意見ではなく、神の言葉である」と聖書が言っています。神とは人が作った神の事ではありません。日本には、人間が作った神々が266,000いるそうです。誰が数えたんやろ。人が作ったのではなく、人をお造りになった方、時間を・エネルギーを・物理法則をおつくりになった方、全宇宙の第一原因者の事を創造主と言います。人が作ったのではなく、人を造った神。ここが分からないと前に進みません。「人がも、人をも、一字違いやないか。」一字違いで大違い!

「人が作った」と「人を造った」は全然違います。人が作った神は、人を助ける事ができません。人をお造りになった神は、人を助ける事ができます。なぜなら作者だから。自分が作った作品が壊れた時、修理できるんじゃないですか? パソコンのメーカーは、パソコンが壊れた時に修理できるはずです。車のメーカーは、車が故障した時に修理できるはずです。作者だから。もし人間の作者がいるならば、人間が壊れた時に癒す事・再生する事・立て直す事ができる。

そして、この方は時間をもつくて時間を超越しているので、過去の事も現在も、これから起こる事についても、前もって知る事ができるんです。この創造主が予め語っておいた言葉を知る事によって、実際にそれがどうなるのかを観察できる。観察・検証して、それが100%間違いないものであると判明するならば、聖書はただの本ではない。道徳の本じゃない。諺の本でもない。神からの言葉だと言う事ができるのではないのでしょうか。

聖書の預言によると、人類の歴史はこれから大変なところに入っていきます。その大変な時代を「患難時代」と言って7年間続きます。この7年間に世界人口が1/4になります。3/4は7年間で絶滅します。死滅です。原因は戦争やパンデミック（感染症の世界的大流行）や飢饉など色々あるのですが、これについて詳しく書いてあるのが**黙示録**。

しかし、7年間の患難時代に入る前に、大きな事件が少なくとも2つある。その内の1つを、今日お話しします。もう1つは時間があればお話しします。

それは中東戦争です。この時の中東戦争は、ロシアが中心となってイスラエルを侵略する事で起こる戦争。ロシアは単独でイスラエルに入るではありません。イランやトルコをはじめとする中東のいくつかの国と連合国家を組んで、連合軍の形で、再建されたイスラエルを侵略します。が、イスラエルの領地に入るや否や、一日にして全滅する。それを世界中の人たちが見ます。そして、「前もってこの事を語っていた**エゼキエル書**を通して、神を認める人たちがたくさん興される」と書いてあるのです。今日はここを一緒に考えていきましょう。

エゼキエル書 38章（新改訳第3版）。**エゼキエル**という人は、今から約2600年前の預言者です。日本で書かれた本の中で1番古い本は古事記と日本書紀で、今から1350年前に書かれました。だから、エゼキエル書は日本の記紀（*きき;古事記と日本書紀の総称）の2倍の古さ。その時、日本人はまだ文字を持っていません。まだ、国の形がなかったのです。そんな時代に、人類歴史の終わりに必ず起こる事が詳しく書いてある。その内容を最初にざっくり言うならば、ゴグと呼ばれているロシアが、いくつかの連合軍を率いてイスラエルに入るという事。それを順々に見ていきましょう。

エゼキエル 38:1-2 さらに、私に次のような主（創造主）のことばが私にあった。「人の子よ。メシェクとトバルの大首長であるマゴグの地のゴグに顔を向け、彼に預言して、ゴグがロシアですが、その根拠は3つあります。

①言葉；メシェクはモスクワの語源で、トバルはトボリスクの語源。ロシアの西の方にウラル山脈があり、その山脈の西側と東側でロシアは2つに分けられます。ウラル山脈から西側をユーロロシア（ヨーロッパロシア）と言って、その中心がモスクワ。東側の地域はシベリアと言って、中心はトボリスク。つまり、ロシアはヨーロッパロシアと+シベリアで、今のロシアがまさにその通り。シベリアを持ちながら、同時にウラル山脈の西側も持っている。だから、これに該当するのは現在のロシアです。

②マゴグの位置；中東を日本から見ると西になります。西側にあるエリアをなぜ「中・東」、「中くらいの東」と書くのか？これは英語の Middle East の直訳です。中東は、イギリスから見た時に「中間の東洋」という意味があるのです。イギリスは東洋を3つに分けました。Near East（近東）・Far East（極東）・1番近い東と遠い東の中間にあるから Middle East（中東）。

だから、日本人がここを中東と言うのはヘンな話。なので、今の中学の地図帳の中には、中東という言葉はもう出てきません。西アジアと書いてあります。その方が正しい。でも、中東の方がイメージできるんじゃないですか？それで今日は、間違っていると知りながら、中東を使わせてもらいます。

さて、マゴグとはカスピ海と黒海間の土地で、マゴグから上は全部ロシア連邦です。ゴグはマゴグの地に住んでいる。カスピ海と黒海の間から全部上がマゴグで、ここに住んでいるのはロシアだからゴグはロシア。

③イスラエルから見た北；エゼキエル 38:15 **あなたは、北の果てのあなたの国から、多くの国々の民を率いて来る。**

イスラエルから見て北の果てはどこか？イスラエルの中心は首都エルサレム。エルサレムから見て北の方向は、まっすぐ上ではありません。これはメルカトル図法で書かれている地図で、実際は北極に近くにつれてしぼんでいきます。北の方向とは、現在地点と北極点を結んで延長した方向で、エルサレムと北極点を結んで、まっすぐ延長したらモスクワの上空を通る。

という事は、イスラエルから見て北の果てと言うのは、モスクワを首都とするロシアなのです。

以上より、ゴグとは現在のロシアを意味していると考えて間違いないでしょう。それで、ロシアがいくつかのメンバーを従えてイスラエルに来る。

エゼキエル 38:5 **ペルシヤとクシュとブテも彼ら（ゴグ）とともにおり、みな盾とかぶとを着けている。ペルシヤ**は今のイラン。イランの意味はアーリア民族の国。ドイツ人もアーリア民族。アーリア民族をアーリアン（Aryans）と言います。アーリアン - アーリアン - イランでイラン。ほんまかいな。ほんまですよ。なぜイラン=ペルシヤか？ここは昔からイランですが、ペルシヤでもあるんです。ペルシヤというのは外国からの呼び名。

日本は日本人には日本。だけどアメリカ人はジャパン、ドイツ人はヤパンと言います。なぜジャパンなんですか？マルコ・ポーロが東方見聞録の中で、黄金の国ジパングがあると行って、ジパングからジャパンになった。なぜマルコ・ポーロはジパングと言ったんですか？当時の中国の人たちは、日本をジープンと言っていて、ジープン - ジパング - ジャパンになった。しかし、ジープンだろうが、ジパングだ

ろうが、ジャパンだろうが、それはよそからの呼び名であって、私たちは日本と呼びますね。

同じように、よそからはペルシヤと言われているけど、イラン人自身は「ここはイランだ。」ペルシヤはイランの中の、ごく一部の地方の名前です。日本を「東京」って言われたら、けったくそ悪くないですか？東京出身の方がいるので、ちょっとアレですけど。やっぱり、日本の中心は高槻でしょう。って、ヨイショし過ぎやけど。

という事で、聖書のペルシヤはイランの事。実際、イラン人はペルシヤ民族。彼らが話している言葉はイラン語とは言いません。ペルシヤ語。ここの特産品はペルシヤ絨毯。ここの猫はペルシヤ猫。ここの目の前の海はペルシヤ湾。イラン=ペルシヤ=イラン。ロシアはイランと連合軍を組んでイスラエルに来ると言っているのです。

エゼキエル 38:6 ゴメルと、そのすべての軍隊、北の果てのベテ・トガルマと、そのすべての軍隊、それに多くの国々の民があなたとともにいる。

ベテ・トガルマは「トガルマの家」という意味で、現在のアナトリア半島。ギリシャから見て東にあります。アナトリアはギリシャ語で「日の出の場所」。太陽は東から出る。西側の日没の場所をギリシャ語で「エレブス」。ここからヨーロッパという言葉が出て来ました。

現在、アナトリア半島を支配しているのがトルコです。今から 100 年くらい前まではこんなに小さくはなかった。その頃はトルコはオスマン帝国。中東一帯が全部オスマン帝国で、非常に強くて 400 年間世界を支配しました。その軍隊は歴史上初めてブラスバンドを使い、鉄砲隊・大砲隊・騎馬隊だけでなく、軍楽隊を率いて、軍人兵士たちを鼓舞して戦闘にあたらせました。

ある時、ウィーンがオスマン帝国に囲まれて、その軍楽隊の音楽が聞こえて来るのですが、この音楽を基に作ったのがトルコ行進曲（*モーツァルトとベートーベンが作曲した 2 作品が有名）。モーツァルトやベートーベンは、国が攻められるようなエピソードからも曲を作ってしまう。どんな人や。

ともかく、「ロシアがイランとトルコを抱えて連合軍となり、その他の国々も巻き込みながら、再建されたイスラエルに入って来る」と、ここで語られているのです。その時の大首長・リーダーはロシア。しかし、今までの国際情勢を見ていくと、それはあり得ない事。人類史を今までずっと見てきた時、或いは世界史を学んでいた方は分かると思いますが、ロシアとイラン・トルコが中東三国同盟の状態になるという事は非常に考えにくいのです。

イランもトルコもロシアに散々虐められて、彼らにとっては「恐ろしや、恐ロシア」。

トルコなんて、ロシアに 14 回戦争を仕掛けられていて、勝ったのは 2 回だけ。12 回負ける度に、領土を削り取られて、最終的にこんなに小さくなってしまいました。

イランもロシアと 4 回戦争しています。そして負ける度に、グルジア・アルメニア・アゼルバイジャン、元々イランだったのが、今ロシアのコントロールの中に入ってしまった。

このように、今までの歴史的な経緯を考えると、イランもトルコもロシアにはこりごり。恐ろしい。震え上がっている。仲間じゃない。一緒になりたくない。敵。それなのに、聖書の預言によると、ロシア・イラン・トルコが連合国となる。

ここで、どうしてそんなに仲が悪かったのかという歴史的なカギを、最初に押さえておきましょう。

実は、ロシアは13世紀に1度滅びているんです。東からやって来たアジアの国に滅ぼされて、200年間消滅しました。「えっ！ロシアを倒した国があったんですか?!」モンゴル帝国。モンゴルはめっちゃ気性が荒い。白鵬見たら分かりませんか？キプチャク・ハンという国/モンゴルが馬でバーッとやって来て、ロシアをめちゃくちゃに叩きのめした。その200年間を「タタールのくびき」と言います。

ロシアはこの200年間にモンゴルのものを叩き込まれるのですが、得たものもありました。それは馬を使いこなす事。これがコサック兵になりました。

プーチン大統領はクレムリンで執務していますが、クレムリンは元々モンゴル語で、意味は城壁・城砦。

ロシアは200年間、アジア/モンゴルの強圧的な独裁で散々な目に遭い、15世紀になってようやく独立した時、「こんなアジアの国々の支配下におかれて、奴隷みたいにされるのは二度とコリゴリだ！」

だけど、ロシアには1つの弱点があります。ユーラシア大陸は、ウラル山脈以外、起伏高低がなくてぺったんこ。緑色になっている地図を見た事があるでしょう。つまり、国境を突破されたら、天然の要塞がないので、すぐに入り込まれてしまう。

そこでロシア人は考えました。「首都と国境の間をできるだけ広げるしかない。国境を突破されても時間稼ぎをするために、国境はできるだけ首都の向こう側に押して行こう。」15世紀からずっと東西に向かって膨張し続け、17世紀にとうとう極東まで到着。ウラジオストク。だから今、ロシアは世界最大の面積を持ち、それがロシアに強力な武器を与えているのです。

広すぎる事と寒すぎる事。この2つは武器ですよ。

今までヨーロッパに数々の戦争の天才がいましたね。ナポレオンやヒトラーや。彼らがロシア国境を突破して攻め込んだ時、ロシア軍は戦略的撤退と言ってわざと負け、「よよよい、よよよい、よよよいよい。」って伝七捕物帳か。サザエさんのエンディングの「来い来い来い」って感じ。

ずっと首都モスクワ近郊まで引っ張って行ったらどうなるか？敵の兵站線（へいたんせん；本拠地から最前線まで続く、食料や武器などを補給するライン）が伸びる。伸びるだけ伸び切った兵站線で、食料供給もおぼつかなくなるほどか細い状態になった時に冬が来る。これ、たまりませんよ。

ナポレオンの天才をもってしても、ロシアを攻略する事はできなかった。ロシアを攻める者は、その広さと寒さによって滅びる事が分かったんです。そこで冷戦以降、西側の国々は、ソ連及びソ連の後継国家であるロシアに対しては、攻め込んでやっつけるという事を諦めました。

その代わりに出て来たのが封じ込め戦略。入れないのなら、この広い所に缶詰め状態にして、出て来れないようにしたらいいじゃないか。これはロシアは困る。基本的に寒い国なので自給自足ができないから。食料の自給自足ができない国ロシア。「ピロシキあるやん。」料理はあるやろ。素材です。素材。

冷戦時代は、西側がロシアを封じ込めるようにして来ました。そうさせまいとするロシアと、そうしようとする西側の葛藤が冷戦時代の構造だと言えます。封じ込められまいとする時は、外に向かって行く出口が必要です。その時、北はダメなんです。ロシアの北は全部北極海。冬には完全に凍り付いてしまって、外に出る事はできません。

だから出口は南しかない。この南の出口の陸路の部分がイラン。海の部分の出口がトルコ。だから、出口戦略のせめぎ合いで、イランとトルコはいつもロシアにボコボコに叩かれて来ました。散々な目。これはプーチンになっても変わりません。

プーチンは元々KGB（カーゲーベ）ですよ。ソ連国家保安委員会。プーチン、可愛いのは名前だけ。「ねえ、プーチン、こっち向いて♪」みたいな。向いて欲しくないわ。むちゃくちゃ怖いねん、あの人。

ロシアとイラン。ロシアとトルコ。ロシアが陸路でイランを通ったら、ペルシャ湾を押さえる事ができる。ここには世界全体の1/3以上の油田が眠っています。

ロシアは黒海に黒海艦隊という強力な海軍を持っていますが、トルコはボスポラス海峡とダーダネルス海峡という細い出口。いくら黒海艦隊を持っても、トルコが海峡封鎖してしまったら袋のネズミ。ここを突破しなかったら、絶対に地中海に出れない。地中海に出たら、中東・アフリカ・ヨーロッパの世界3大大陸の柔らかい腹を突く事ができるんです。何が何でも、この出入り口通過を確保するために、トルコに対してプレッシャーをかけ続けて来た。だから「仲良しになるのは無理！」と思われていたのが、21世紀に入って、世界の流れが大きく変わりました。

21世紀に中東を中心に何が起こったのか？まず、大きなターニングポイントが2011年3月。シリアの内戦が始まった。これは日本人の記憶にないんですよ。2011年3月11日、東日本大震災があったから。地球の裏側で、これからの世界史を大きく塗り変えてしまうような事件が起こっていたけど、日本に住む者にしたら、それどころの話ではなかった。あの地震と津波と原発事故で「日本はどうなるのか?!」そのため、世界史の大きなターニングポイントがパンと抜けているので、確認しておく必要があります。

2011年3月にシリアで民主化運動が起こりました。アラブの春。この民主化運動は平和的なものだったのです。ところが、シリアのアサドという独裁者は、非常に残酷な、戦車で人民を踏み潰していくという方法で弾圧します。アサドは親子2代にわたって40年以上独裁者。これに嫌気がさしたシリア軍兵士たちが「いくら何でもあんまりだ!」と一般民衆の側に寝返りました。

国軍と一般民衆側に寝返った軍隊との間で内戦が始まり、国の中がどんどんおかしくなってグジャグジャになって行ったところに、外部からとんでもないグループが入った。それがイスラム国です。

「恐れるべきコーランに書いてある通りの事をやるんだ!」後藤健二さんをはじめとして、日本人の首を落とした。征服した町の女性と子供は全部奴隷・私物・売買OK。毎週金曜日は公開処刑。残虐な事をやりたい放題やって、それを隠さないでYouTubeにアップして、みんなに見せている。

イスラム国がシリアに入り、あつという間にシリアとイラクにまたがるエリアを独立国家宣言。

このままだったら、シリアはもう風前の灯火というまでになったのですが、その時にプーチンが立ち上がりました。なぜプーチンがよその国の問題に対して、ここで立ち上がったのか？シリアはロシアに空軍基地と海軍基地を貸し出している世界唯一の国です。日本にも在日米軍基地というのがありますね。今世界には200くらいの国がありますが、ロシアに空軍基地と海軍基地を貸し出しているのはシリアだけ。もっと言ったら、ロシアが国外に基地を持っている唯一の場所がシリア。

アサド政権がイスラム国に倒されたら、中東・ヨーロッパ・アフリカ大陸の要の基地を失う事になる。何があっても死守するという事で、ロシアは空爆を始めました。この空爆で使った新兵器の数は何と500種類ですよ。ロシアはシリアの人たち・イスラム国・色んな軍隊を最新兵器の実験対象にしたんです。非常に恐ろしい事が、ここで行われていました。空軍基地があるラタキヤを「何が何でもここを保つ!」

ところで、内乱状態になっている面の部分を叩くためには空爆だけでは不十分。空爆はピンポイントで潰す事はできるけど、面を制圧するには絶対に地上軍の参戦が必要です。

しかし、地上軍を入れたらアフガニスタン戦争の二の舞で泥沼になるので、ロシアは入れたくない。ロシアが躊躇している時、「我々が地上軍となって地面で戦う。空はロシア軍がやってくれたらいい」と申し出たのがイラン。

なぜイランがそう言ったのか？ イランはイスラム教シーア派。イスラム教全体の 10%しかいない。イラクはシーア派が 60%。シリアのアサドはシーア派の親類のアラウイ派。イランはシリアがこけたら地中海に出られないけど、生き残ってくれたら地中海への出口を確保できる。この戦略的・地政学的な国益の一致があったので、ロシアとイランは完全に歩調を合わせました。

今までの歴史上の経緯はさておき、これから 21 世紀を生き残っていくために、イランはロシアの後ろ盾なしには中東で活動できない。ロシアはイランが地上軍を出してくれるからこそ、シリアを助ける事ができる。この共通の利益によって、今まで仲が悪かったロシアとイランが完全に歩調を合わせているんです。

次にトルコ。トルコは非常に戦略的に重要な場所で、3 つの生命線を握っていると言われていています。
①対ロシアの生命線；ロシアは 2014 年の 3 月 18 日、黒海にあるクリミア半島に軍を入れて、ここを強奪してしまいました。それでアメリカが経済制裁しているのですが、ロシアは絶対に返しません。

今年、ロシアの大統領選挙があって、プーチン大統領は再選されましたね。向う 6 年間はプーチンと付き合わないといけない。安倍さんとプーチンは 23 回会ってます。こんなに頻繁に会っている西側の首脳はいないんじゃない？ 習近平との首脳会談、この間北京でやったのが初めて。7 年振りに。プーチンとは 23 回。北方領土の問題があるから。

ロシアがクリミア半島を取ったのは 2014 年 3 月 18 日。今年の大統領選挙は 2018 年 3 月 18 日。わざわざ同じ日を選んだんです。「ロシア人よ、クリミア半島がなくなったら、我々の海の出口はなくなる。黒海艦隊の基地を失ったら、南の出口がなくなる。」ロシア国民は「ほんまにそうや!」という事で、プーチンに票が集った。外から見たら、プーチンは強引と思うかもしれないけど、ロシアの中のプーチン人気はぶっちぎり。しかし、黒海艦隊がクリミア半島をなんぼ持ったとしても、ボスポラス・ダーダネルス海峡を閉じられてしまったら出る事はできません。だから、トルコはロシアに対して生命線なのです。

因みに、西洋・東洋と言いますが、その境界線はどこか？ ダーダネルス海峡ラインから東側が東洋、西側が西洋で、トルコは両岸持っている。だから、トルコは東洋でも西洋でもなく東西洋。

②対アラブの生命線；中東では水 1 杯の方が石油 1 杯よりも高い。「日本人は水と安全はタダだと思っている」と言われますが、中東はホンマに砂漠地帯が多くて、地面掘ったら油田が出て来る。高槻の地面掘ったら温泉出て来るんじゃない？ だけど、温泉出て来ない。

アラブにはチグリス川とユーフラテス川の 2 大川があって、途中で合流してシャトルアラブ川という川になります。この川の領域・国境ラインを巡って始まったのがイラン・イラク戦争（1980-1988）。

チグリス川とユーフラテス川の水源地はトルコです。トルコはこの 2 つの水源地に、強力な巨大なダムをいっぱい造っている。つまり、いつでも水を止められる。大家と店子みたいなもので、大家が水道の元栓ひねったら、店子が蛇口開けても水が出て来ない。すなわち、工業用水・生活水の供給のコントロールはトルコが握っているという事。「国際河川でそんな巨大なダムを造るの、やめろ!」って言うけど、聞きますかいな、そんなの。トルコが。

エルドアン大統領は、ものすごい独裁者ですよ。だけど親日家。あまり親日家の悪口言いたくないけど、めっちゃくちゃ独裁者。トルコを握る者は、アラブに対して影響力を行使する事ができるのです。

③対ヨーロッパの生命線；シリアの内戦が2011年に始まって、もう7年以上です。7年間国の中がメチャクチャに破壊されて、2100万人いたシリア人口の内1100万人は国内外で難民になり、安全で裕福な場所を目指しました。トルコのすぐ向こう岸には、安全で裕福なヨーロッパが広がっている。難民は当然ヨーロッパを目指し、ドンドン押し寄せた結果、ヨーロッパはどうなったか？

イギリスがEUから脱退する事を決めましたね。なぜですか？難民を引き受けるというのがEUの命令だったから。EUでは、難民として引き受けたその瞬間から、その人たちの医療費は全額無料。イギリスがEUに残ったら、今日着いたばかりの難民が「盲腸痛い。手術!」となった場合、その費用は全部イギリス国民が支払う。これでイギリスの保険制度が倒れます。

それに、文化摩擦がある。職業は奪われていく。それから残念な事に、特にベルギーやフランスがそうでしたが、難民に紛れてテロリストが忍び込んで来て、ヨーロッパで自爆テロや集団殺害テロをやった。それで、ヨーロッパが悲鳴を上げて「もうこれ以上、難民を送るのは止めてくれ!」。彼らは今トルコでストップされているけど、もしトルコがドアを開けて行ったらズワーっと出て来ます。

今ヨーロッパの政治の1番の問題は、右翼みたいな政党がものすごく出ている事。これをポピュリズムと言って、ヒトラーのように人種差別的な事を言ったり、「移民難民排斥を掲げる政治家が本当の政治家だ!」と凄く票が集まっている。

今ですらそうなのに、トルコが移民のバルブを開け、全開にしてヨーロッパに送り出したらEU壊滅です。これは、歴史上、実際にあったんですよ。ローマ帝国がなぜ滅んだのか、世界史で習ったでしょう。ゲルマン民族の大移動で滅んだのです。再現です。21世紀版。そのカギを握っているのがトルコ。だから、トルコを握る者は、ロシア・アラブ・ヨーロッパに対して生命線を握る事になるのです。

なので、アメリカは何としてもトルコを自分の側に引き寄せておきたい。なので、トルコはNATOのメンバーなんです。NATOはロシアに対する集団的自衛権の軍事同盟。ところが、このトルコが最近アメリカとケンカしている。EUともすごく仲が悪くて、1番の仲良しが「ねえ、プーチン」ですよ。「ねえ」はいりませんが。

なぜか？ずっと昔から、トルコ経済の4割は対EUです。でもEUのメンバーではないので、関税特権を受ける事ができず、「EUに入れてくれよ！メンバーにして下さい!」とずっと言って来ました。その度にEUは「トルコは法律があるからあかん。」EUは死刑制度廃止です。「トルコはまだ死刑やってる。あかん。」それでトルコは法改正して、死刑制度を廃止した。「もう、いいですか?」「あかん。」1つクリアしたらハードルがグッと上がる。その繰り返しで、ハードルがどんどん上がって入れない。

トルコはエルドアン大統領という人物になってから、やり方を変えました。下手に出る事ばかりが有効じゃない。恫喝し始めたんです。「そんなに言うんだったら、俺、ロシアに行こか?!俺がロシアに行ったら、お前ら、どないなんねん?」。つまり、トルコは自分の価値を知っている。

ちょっと、日本もそれ、やったら？ホンマに。ちょっと見習ったらええんちゃう?「そんなに高飛車に出るんだったら、俺、ロシアと組むぜ」と言って。

プーチンは今、エルドアンを全面的に支えています。今から 2 年前でしたか、エルドアンのクーデター未遂事件がありましたね。彼はアンカラで政治をしています、7 月にアルマリスに避暑に行きました。リゾートホテルでゆっくりしようと思っていた時、そこにエルドアンがいるという事をトルコの軍部が知り、特殊部隊員 22 人が 3 機の軍用特殊ヘリコプターに乗り込んで急襲したんです。エルドアンを殺してクーデターと思った。

しかし、この部隊が着く 5 分前に、これを知ったエルドアンが逃げて、大統領警護隊に連れられて別のホテルにかくまわれ、クーデター失敗。タッチの差で。5 分前に「もうすぐクーデターでお前殺されるぞ」と誰が知らせたのか？ ロシアです。ロシアの情報網は怖い。私は 1 度、怖い目に遭いました。それはまた別の機会です。もうこれ、ホンマ怖いですよ。だから、エルドアンにとってロシアは命の恩人。

という事で、今までの世界史的な流れの中では、ロシアとイランとトルコが組むなんて事はあり得なかったのですが、この 21 世紀に入ってそれが起こっている。

ロシアはなぜ、そんなにバンバン叩く事ができるのか？ 本当の理由は、ここに基地を確保したいという事ですが、大義名分はイスラム国を叩くという事。でも、イスラム国を叩いても殆どいない。なので、居座った状態で、中東三国同盟で、シリア内戦の後始末の決着をつけようとしているワケです。そのように事を運ぶ事ができた最大の理由は、アメリカが一旦引っ込んだから。

トランプ大統領の前はオバマ大統領でした。オバマ大統領は何を公約にして当選したかという「戦争を収める。」2001 年 9 月 11 日にアメリカ同時多発テロがありましたね。10 月にアフガン戦争が始まりました。2003 年にはイラク戦争開始。2001 年 10 月に始まったアフガン戦争は、実はまだやってるんですよ。2001 年の戦争を 2018 年になってもまだやっている。

この中に、戦争を経験された世代の方はもうおられないでしょうか？ 太平洋戦争は 3 年 9 カ月。日本はボロボロでした。17 年続いている戦争でアメリカは厭戦気分。オバマ大統領は、この戦争を終わらせるという事を公約に立候補して当選したので、中東でアメリカの軍事力を使う事に対してはものすごく慎重。たくさんの方がここで死んでいますが、ある時、アサド大統領が化学兵器のサリンを国民の上に落とし、呼吸困難で七転八倒、苦しんでいる映像がバーッと流れた。その時、オバマ大統領は「今度化学兵器を使ったら、アメリカは黙っていない。レッドラインを超えるんだ。軍事介入するぞ。」

アサドは再び使用した。アメリカは何もしなかった。それで、アメリカの大統領の権威がドーンと落ちました。やると言ってやらなかったら、もうおしまい。その時にオバマ大統領が言ったのは「アメリカをいつまでも世界の警察官と思うのはやめてくれ。アメリカは世界の警察官である事を、もうやめる。」「やめる」と言ったのを聞いて、ロシアはクリミア半島を取り、中国は南シナ海に人工島を埋め立てて基地を造るようになったのです。世界の保安官がやる気がなくなって「引退しまーす」と言ったら、ならず者は「よーし、今、チャンス！」となるのは当然でしょう。それが今の流れです。

このロシア・トルコ・イランが軍事同盟を組んでイスラエルに入る。

エゼキエル 38:8 多くの日が過ぎて、あなた（ロシアのゴグ）は命令を受け、終わりの年に、一つの国に侵入する。

この預言の書物は 2600 年前に書かれました。2600 年前から多くの時間が過ぎた時、ロシアは命令を受けて、終わりの年に、一つに国に侵入します。

その国の国民は、エゼキエル 38:8 その国は剣の災害から立ち直り、その民は多くの国々の民の中から集められ、久しく廃墟であったイスラエルの山々に住んでいる。その民は国々の民の中から連れ出され、彼らはみな安心して住んでいる。

イスラエルとはどんな国でしょうか？ ゴグが入ろうとしているイスラエルは、多くの国々の中から集められたユダヤ人たちが造った国。多くの国々の中からユダヤ人が集まるという事は、そこに散らされていたという事が前提です。

ユダヤの国は AD70 年までは存在していました。ところが、時の世界帝国ローマと戦争したために、100 万人いたユダヤ人が殆ど皆殺しになって、97000 人だけが世界中に奴隷として売りに出され、ある者はヨーロッパ大陸に・ある者はアフリカに・アジアに飛ばされて、世界中にユダヤ人たちが散って行きました。

しかし 1900 年後に「散って行った多くの国々の中から集められる」。これは普通、歴史に於いては起こらない事です。なぜなら、ある民族がすごく少数派になって、世界中に散らされて、100 年・200 年・300 年経ったら、散った先の民族と混血が進んで同化してしまうから。少数派は多数派に塗り潰されて、いなくなってしまいます。

山田長政（やまだ ながまさ）を知っていますか？ 江戸時代、タイがシャムと言われていた時、アユタヤに日本人町を造って、日本人が 2 万人くらい住んでいました。今そこに日本の工業団地がたくさん建っていますが、日本人の子孫は住んでいません。タイの方たちとの混血が進んで塗り潰されたからです。たった 200 年で。

ユダヤ人は約 2000 年間、世界中に散らされていながらユダヤ人であり続けた。なぜ、そんなにアイデンティティーを保つ事ができたのでしょうか？ 彼らは散らされた時、その国になくはならない人材になる事によって生き延びようとしたのです。よく、ユダヤ人は賢いとかユダヤ人には天才が多いとか。確かに天才が多いのですが、それは生まれ持ったものではなくて、やっぱり境遇ですよ。

よそ者がその国で生き残って行こうと思ったら、その国に必要な人材にならないと生き延びれないでしょ。それで自分を磨いて、頑張って、そうして生き延びたんですが、優秀になって成功し過ぎると妬まれる。少数派だったら虐められる。成功し過ぎると妬まれる。どちらにしても迫害が待っている。それで 2000 年間、世界中を放浪して、どこに行っても叩かれて、呪われてきました。

そのユダヤ人たちが、終わりの年に、多くの国々の民の中から集められると書いてある。ユダヤ人が世界中から集まって来て造った国がイスラエル。1948 年 5 月 14 日に独立宣言しました。そこは剣から立ち直りとありますが、「立ち直る」は「シューブ」というヘブライ語で、「立ち上がる」という意味があります。勝手にしたのではなく、その半年前に、国連でパレスチナ分割決議案が通り、国連のお墨付きの下、圧倒的多数の支持によって、パレスチナの国とイスラエルの国が両方できる。イスラエルはそれを認めて「独立します!」。これが 5 月 14 日。

5 月 15 日に何が起こりましたか？ アラブの 5 カ国が連合軍を率いてドツと入って来たのです。その時、ユダヤ人には武器がありませんでした。1948 年という事は、3 年前まで、ヒトラーがアウシュビッツ収容所のガス室に 600 万人のユダヤ人を送り込んで殺しているんですよ。ヒトラーが死んで、まだ 3 年後ですよ。ヨレヨレ状態のユダヤ人たちが、最新兵器で身を固めているアラブ 5 つの連合軍がバサッと入って来た時、死に物狂いで戦いました。武器がないのに、不思議な勝ち方をしているんです。

1つだけ紹介しましょう。北のシリアがガリラヤ地方に攻め込んで来た時、ここを守っていたのは軍隊ではなくて、イスラエルの農業高校の先生と生徒たち。いつもはカボチャ作っているような人たちがシリア軍と戦う。シリア軍と!

ところが武器がないので、ハンドメイドで大砲を作りました。その大砲の名前が「ダビデカ」。

「ダビデ」は少年ダビデが巨人のゴリアテをぶっ倒したというところから、「小さなイスラエルが大きなシリア軍をやっつけろ!」という意味を込めました。「ダビデか?」じゃなくて「ダビデカ」。

普通、大砲は、ここから弾がパーンと出るでしょ。でも、材料が足りなくて、細い砲身しかなかった。そこで、砲身の外側に弾を付けて、それで撃つ。それを一生懸命、5基作るんです。

今でもイスラエルの軍事博物館に行ったら、それを見る事ができます。もう、ほんまにチャチ。

ダビデカは、まず飛距離がない。ポン! 飛ばない。素人が作ったから。2番目に命中率がメチャクチャ悪い。こっちを狙っているのに、向こうに行ってしまうたりする。3番目、音だけでかい。ドッカーン!!

ここで炸裂したみたいな。音エネルギーに変換したという事は、それだけ破壊力は減衰します。

ハッターか?みたいな。何がダビデか? おまえ、それでもダビデか?

これ5つで、シリア軍とどうやって戦います? 1948年5月14日に独立宣言して、15日に戦争が始まるのですが、この時期のイスラエルは乾季です。中東の気候は雨季と乾季に分かれていて、乾季には雨が一粒も降りません。その乾季の時にドカーンと撃ったら、不思議な事に突然雨が降った。

それで、シリアの兵隊たちは「核兵器じゃないか?」と言い出しました。

核兵器は炸裂した時にキノコ雲が上がって、その後、放射性沈下物を含んだ黒い雨が降って来ます。放射能がたくさん混じったその雨を浴びると汚染され、二次障害が起こる。「あんなにすさまじい音で炸裂し、乾季で雨が降らないのに降って来た。あれは超小型核兵器だ」と錯覚して、一斉に逃げて行き、先生と生徒たちは防衛し切ったという話。私は取材に行って、本人から聞きました。

来年(2019年)2月に20回目のイスラエル取材に行きますが、その生き残りの人たちの話を聞くのはとても面白い。みんな言います。「俺たちの力じゃない。」「普通だったら説明がつかないような方法で、我々は守られたんだ!」。そこは剣から立ち直り。超自然的な守りと言う事ができるかもしれません。

イスラエルの国はどこに町を作るのか? 特に、聖書時代のイスラエルはどこに町を作るのか?

イスラエルは北にガリラヤ湖があって、下に降りて来ると死海があって、この2つの湖を結んでいるのがヨルダン川。そこに山が走っていて、ガリラヤの山地・ユダの山地・ネゲブの山地・全部合わせてイスラエルの山々。

聖書時代の町は全部山の上に並んでいました。エルサレムは標高800mの山の上にあります。その下のベツレヘム、その下のヘブロン、その下のベエル・シェバ、全部が山の上にあるんです。

帰って来たユダヤ人たちは、久しく廃墟であったイスラエルの山々に住んでいる。これは、2000年前の聖書時代の場所に再び戻って来たという事。本当に実現しているんですよ。

エゼキエル 38:12 あなた(ロシアのゴグ)は物を分捕り、獲物をかすめ奪い、今は人の住むようになった廃墟や、国々から集められ、その国の中心に住み、家畜と財産を持っている民に向かって、あなたの腕力をふるおうとする。

イスラエルの中心はエルサレムです。エルサレムにユダヤ人たちが住んでいる。

イスラエルがエルサレムを手中に収めたのが第3次中東戦争（1967. 6. 5-6. 10）。
1967年6月、イスラエルはオールドシティーを含むエルサレムを手中に収めました。

エゼキエル 38:8 その民は国々の民の中から連れ出され、彼らはみな安心して住んでいる。

中東で、イスラエルが和平条約を結んでいる国は2つしかありません。エジプトとヨルダン。
それ以外の国はイスラエルと和平条約を結んでいない。イスラエルに行って「No Stamp, please」と言わないと、パスポートにイスラエル入国のスタンプが押されて、もうアラブの国に入れません。

ところが今、アラブの国々で、イスラエルと戦争して勝てると思っている国はどこもない。ユダヤ人は今、安心して住んでいます。それは和平条約があるからではなく、自国の軍事力の強さによってです。
はっきり言うと、核を持っている。イスラエルは核兵器を持っています。だから、安心して居るんです。

そのような状態の時にゴグが入って来ます。

エゼキエル 38:18-20 ゴグがイスラエルの地を攻めるその日、その日には必ずイスラエルの地に大きな地震が起こる。海の魚も、空の鳥も、野の獣も、地面をはうすべてのものも、地上のすべての人間も、わたしの前で震え上がり、山々はくつがえり、がけは落ち、すべての城壁は地に倒れる。

大連合軍がイスラエルに入って来た時、その地に足を踏み入れるや否や、大きな地震がある。

「地上のすべての人間も、わたしの前で震え上がり」と書いているので、このプレートの移動は、地球の裏側でも恐怖を感じるような揺れです。

と同時に、ここでの恐れは、物理的な恐れ以外の事も意味しているのです。「わたしの前で震え上がり」。これは、人が神の前に出た時に感じる恐れ。「この地球的規模の地震は、単なる天変地異じゃない。あの**エゼキエル書**に書いてあった事が遂に起こった」と意識した人々が、神の前に震え上がるのです。

エゼキエル 38:21 わたしは剣を呼び寄せて、わたしのすべての山々でゴグを攻めさせる—神である主の御告げ。—彼らは剣で同士討ちをするようになる。

連合軍は仲間同士で討ち合って滅びます。**22節**に出て来る8つの災害で滅びますが、超自然的な方法で、ロシアを中心とする連合軍は一瞬にして壊滅するのです。

その壊滅している状態を、**エゼキエル 38:23** わたしがわたしの大いなることを示し、わたしの聖なることを示して、多くの国々の見ている前で、わたしを知らせるとき、彼らは、わたしが主であることを知ろう。

連合軍がイスラエルの中で、雹・豪雨・疫病・同士討ち・地震で、あっという間に壊滅していく様子を多くの国々が見る。すなわち、世界中がリアルタイムでゴグの壊滅を目の当たりにする。これが書かれたのは2600年前。その時に中東で大戦争があっても、日本人は気がつきません。見る手段がないから。

でも今はインターネット。衛星中継。地球の裏側で今何が起きているかを、リアルタイムで同時に見る事ができます。今でないと理解し得ない事が、ここに書いてあるのです。それを実際に見た時、前もって**エゼキエル書**を知っている人たちは「ああ、本当だったんだ!」「聖書の神は実在している!」「この神はアブラハム契約を実行されるんだ!」「悪を討つ方だ!」と知るようになる。これが聖書預言です。

私は聖書を読む前は、聖書は「右のほっぺたを叩かれたら、左のほっぺたも出しなさい」みたいな、実行不可能な事を書いてある道德の本だと思っていました。そうではない。預言の本です。

ここに書かれている事は、その通りに実現するのです。そして、この聖書預言を通して、私たちは創造主なる方が分かるのです。

私はラジオの番組をやっていますが、ラジオ番組の中で約50年間続いた長寿番組があって、その1つが「子供ラジオ相談室」。子供の色々な質問に大人が答える。凄いですよ、子供の質問。時々「えーっ!」と。「反省の色って、どんな色ですか?」;「真っ青だと思う。」それ、顔色ちゃうん? 「へびって、どっからがしっぽですか? ボクには全部しっぽに見えるんですけど。」;「へびにもね、肛門があるんだよ。肛門から後ろの部分がしっぽだよ。」なるほど! 「年中無休のコンビニに、なぜシャッターが付いてるんですか?」年中無休だったらシャッター降ろさなくていいのに。子供って、何でそんな事を考えつくんでしょうね。不思議ですねえ。

で、ある子が「神様っているんですか?」この時だけは、回答者がみんな譲り合い。「あなたがどうぞ。」「いえ、あなたが…」ある方が「いると思う人にはいるが、いないと思う人にはいない。」そしたら「先生はどっちですか?」;「いると思う時と、いないと思う時がある。」なんじゃ、それは。でも、「神様って信じる人には意味があるけど、信じていない人には意味がない」という感覚、多いんじゃないですか?

しかし聖書の預言は、全人類が1人も信じなくても、書かれてある事は全部その通りになるんです。人間の信仰に依存せず、書かれている事が全て実現する。これこそ、客観的な真理ではないでしょうか。これらの預言を通して、「聖書の言葉は、絶対的に信頼できる言葉なのですよ」と語っています。そして、私たちの人生の導き手でもある方が、聖書の中に紹介されているのです。

最後に1つお話して終えたいと思います。ある方が、将棋の名人にインタビューしました。「私は大学時代、将棋部の主将で、アマチュアの6段です。折角だから一手、戦って下さい。」「いいよ。飛車角落ちにしようか?」「いや、そんなの嫌です。五分と五分の条件でお願いします。」「いいよ。じゃあ、あなたの局、どこで死にたいか、マス目指して。そこで指すから。」こわっ! 将棋は自分の好きに指していい。でも終わってみたら、名人の思い通りになっている。先の先まで読んでいて、どんなに奇襲戦法やろうが、伝統的な定石を踏もうが、名人の手の内の中にあるんです。

歴史は人間の自由意思によるのですが、その結果が、前もって書かれた聖書の中に既に存在している。その事で、神の全能の凄さが分かるのではないのでしょうか。私たちの人生の先の先まで見通せる方が、私たちの救いと罪の解決・祝福を語っているのが聖書です。聖書を通して、聖書が指し示している解決者キリストに出会って下さったら、これに勝る喜びはありません。

どうぞ続けてこちらの集会にいらして、キリストと出会って下さいますように、心からお勧めして終えたいと思います。

~~~~~  
\* 動画は YouTube で「[HCA 東住吉キリスト集会](#)」検索。ぜひ見て下さい。  
\* ラジオ番組「[聖書と福音](#)」(15分)も是非どうぞ。スマホでいつでも聞けます。 動画筆記 : Rumi